

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 4 回被服学教育 FD/IT 活用研究委員会議事録

- I. 日時：平成 21 年 11 月 2 日（月） 16 時 30 分から 18 時 30 分
II. 場所：私立大学情報教育協会事務局会議室
III. 出席者：高部委員長、田中委員、江川委員、軽部委員、阿部委員
井端事務局長、森下、恩田

1. 検討事項

(1) 学士力の詳細設計について

到達目標をイメージしたコア・カリキュラム、到達目標、測定手段等の検討（継続）

被服学教育における学士力（案）について、前回までの委員会ではほぼ完成した。各先生方のインターネット上で意見を募り、その結果が事務局より報告された。A3 用紙の表・裏）。この結果を受けて、本委員会では内容を再度検討して修正した。修正点は、下記の通り。

到達目標 1. の項

【コアカリのイメージ】

「服飾文化史、ファッションデザイン、……………」は、「服飾文化史、現代ファッションデザイン、……………」に修正。

到達目標 2. の項

【コアカリのイメージ】

「……………、パターン設計、縫製、ファッション造形など」は、「……………、パターン設計、縫製など」に修正。

到達目標 3. の項

【コアカリのイメージ】

「テキスタイル材料、染色加工、アパレル設計、アパレル表現、ファッション色彩など」は、「被服材料、テキスタイルデザイン、アパレル設計、色彩設計など」に修正。

到達目標 4. の項

【コアカリのイメージ】

「アパレル企画、マーケティング、リテリング、アパレル産業・流通など」は、「アパレル生産、アパレル企画、マーケティング、リテリング、ビジュアルマーチャライジング、アパレル産業構造・流通など」に修正。

【到達度】

「①アパレル産業の構造を理解している。」は、「①アパレル産業の構造と生産のプロセスを理解している。」に修正。

到達目標 5. の項

【到達目標】

「……、消費における環境問題を理解し、生活の質の……」は、「……、消費における環境問題などを理解し、生活の質の……」に修正。

【コアカリのイメージ】

「……、アパレル消費経済、ライフスタイルなど」は、「……、アパレル消費科学、ライフスタイルなど」に修正。

【到達度】

「①環境への影響を考えて、被服の選択、維持管理が出来る。」は、「①環境や社会への影響などを考えて、被服の選択、維持管理の方法を理解している。」に修正。

「②……ライフスタイルを意識し、リサイクルなどを通じて衣生活の向上を目指すことが出来る。」は、……ライフスタイルを意識した衣生活の向上を考えることが出来る。」に修正。

2. 今後のスケジュールについて

11月14日（土）の理事会に於いて提案、25日（水）の総会にて報告の予定である。次回の委員会は、12月26日（土）午後1時から午後3時の予定。

場所；立大学情報教育協会事務局会議室

以上

委員会(案)確定

インターネットによる意見反映済

被服学教育における学士力(案)

平成21年11月2日現在
被服学教育FD/IT活用研究委員会

【到達目標】

1. 被服の歴史・文化や被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用などによるイメージや感性の表現ができる能力を身につけている。

【コアカリのイメージ】

服飾文化史、現代ファッションデザイン、ファッションイメージ表現、被服心理、基礎造形など

【到達度】

① 被服の歴史・文化・役割を理解し、被服の社会的、保健衛生的役割を論理的に説明

できる。

- ② 被服のイメージや感性の表現ができる基礎能力を身につけている。

【測定方法】

- ①は、レポートや筆記試験などで確認する。
- ②は、作品を通して感性や技術を確認する。

【到達目標】

- | |
|--|
| 2. 人体を把握し、人体と被服との関係や被服構造を知り、被服の構成力を身につけ被服パターン設計に活用できる能力を身につけている。 |
|--|

【コアカリのイメージ】

被服人間工学、被服構成の基礎、パターン設計、縫製など

【到達度】

- ① 人体の構造と機能を理解して、被服形態との関連を説明し、機能評価ができる。
- ② 被服構成の基礎を理解して、被服設計ができる。
- ③ 縫製の基礎的な知識と技術を身につけ、被服造形ができる。

【測定方法】

- ①は、レポートや筆記試験などで確認する。
- ②は、筆記試験および実技試験などで確認する。
- ③は、筆記試験および作品などで確認する。

【到達目標】

- | |
|--|
| 3. 被服材料の特性を理解し、被服設計への応用と被服デザインの着用表現ができる。 |
|--|

【コアカリのイメージ】

被服材料、テキスタイルデザイン、アパレル設計、色彩設計など

【到達度】

- ① 被服材料の特性を理解している。
- ② 被服材料の特性を活かしたアパレルの設計ができる。
- ③ ファッションプレゼンテーションができる。

【測定方法】

- ①と②は、筆記試験、レポートなどで確認する。
- ③は、作品制作やプレゼンテーションなどで確認する。

【到達目標】

4. 繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みと企画設計までのプロセスを理解することができる。

【コアカリのイメージ】

アパレル生産、アパレル企画、マーケティング、リテーリング、ビジュアルマーチャンダイジング、アパレル産業構造・流通など

【到達度】

- ① アパレル産業の構造と生産のプロセスを理解している。
- ② マーケティング手法について理解し、市場調査・分析の方法を身につけている。
- ③ アパレル製品の情報収集、コンセプトの策定、デザインを考えることができる。

【測定方法】

- ①は、筆記試験などで確認する。
- ②は、筆記試験、レポートなどで確認する。
- ③は、レポートなどで確認する。

【到達目標】

5. 被服の生産、流通、消費における環境問題などを理解し、生活の質の向上を考えることができる。

【コアカリのイメージ】

アパレル管理、アパレル環境科学、アパレル消費科学、ライフスタイルなど

【到達度】

- ① 環境や社会への影響などを考えて、被服の選択、維持管理の方法を理解している。
- ② 省資源的ライフスタイルを意識した衣生活の向上を考えることができる。

【測定方法】

- ①と②は、レポートや筆記試験などで確認する。

以上